

様式第4(第8条関係)

第2次渋川市総合計画(案)に関する市民意見公募実施結果

□意見等の募集期間：平成29年8月30日～平成29年9月29日

□意見等の受付件数：1人・4団体、31件

1. 提出された意見等を項目ごとに整理し、意見等の概要として掲載します。

(1) 計画全体に係る意見について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	計画内容についてコンサルタントに依頼するのではなく、市独自で議論し、計画案を作成する必要がある。	コンサルタントは、円滑に策定作業を進めるための補助として活用しています。 総合計画の策定については、市民の意見を踏まえながら職員主体で内容を議論し、計画内容を作成しています。

(2) 「I 序論 第2章 計画策定の背景 2 市民意識」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	計画作成には、市、企業、住民、との対話が色々な課題を解決する為に、重要、必要である。	計画作成に当たっては、市民からこれまでのまちづくりに対する評価やこれからのまちづくりに対する意向を伺うため、市民意識調査や中学生・高校生意識調査を実施しました。 また、市民や各種団体などから直接意見をいただく機会として、地区別・分野別懇談会(計26回)や市民ワークショップ(計8回)を開催しました。 さらに、これらの市民の意見を踏まえ作成した計画(案)について、市民意見公募を行い、幅広い市民の意見を取り入れた計画づくりを推進します。

(3) 「II 基本構想 第3章 将来フレーム 3 財政」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	財政状況を踏まえると、これからは「箱物・ハード」でなく「施策・ソフト」に転換すべきである。	今後の財政状況は、市税収入等の伸び悩みに加え普通交付税の縮減が見込まれる一方、大型事業の実施に伴う公債費や、社会保障給付費の増加等により、厳しい行財政運営が続くことが予想されます。 そこで、施策・事業の見直し等を積極的に行い、健全な行財政基盤の確立と運営を図ります。

(4) 「Ⅲ 基本計画 第1章 重点プロジェクト 2 重点プロジェクトの推進に当たって」
について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	市にとって最優先で、緊急に考えるべき問題点は「人口減少」であることから、総合計画で人口減少対策を最優先として、いずれかの項目に追加する必要がある。	人口減少対策を喫緊の課題と捉え、本市が取り組むべき最優先事項と分かるよう、タイトル等にその旨を加筆し、修正します。 また、具体的な取組を明確に記述するため、市長公約を踏まえた取組内容を追記し、修正します。
2	人口減少対策について、フランスの人口増加に役立った計画を参考として計画に取り上げるなど、柔軟で、実行性のある計画を検討する必要がある。	人口減少対策については、本市の喫緊の課題と捉え、重点プロジェクトにおいて、取り組むこととしています。 今後も他の事例を参考としながら、本市の特色を踏まえた柔軟で実行性のある取組を検討し、実施計画等で示すこととします。

(5) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策2-4「スポーツと健康づくりの推進」」
について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	渋川駅を拡大し、地下にスポーツセンターを設置することで、集客を図ってほしい。	施策2-4「スポーツと健康づくりの推進」では、社会体育施設の整備・充実に取り組む中で、社会体育施設のより一層の利便性の向上を図るとともに、利用率の低い施設については統廃合の検討を進めることとしています。 渋川駅地下へのスポーツセンターの設置については、東日本旅客鉄道(株)高崎支社との協議や莫大な工事費が見込まれ、多くの地権者の了承を得る必要があるため、現状は整備をすることは困難です。

(6) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策3-2 「工業の振興」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	市内の関東四社の工場群を強化、育成して、雇用機会を増やす努力をするべきである。	<p>施策3-2「工業の振興」では、各種制度融資の普及、工場等の拡大や販路開拓の支援などにより経営基盤の安定化を促進することとしています。</p> <p>工業振興については、引き続き関東四社を始めとした関係機関と連携を図りながら推進します。</p>
2	工業の振興には、市と企業の対話、話し合いが重要である。	<p>施策3-2「工業の振興」では、産学官金の連携により、中小企業の活性化と創業支援、企業誘致などを推進することとしています。</p> <p>工業振興については、引き続き市内企業などの関係機関と連携を図りながら推進します。</p>

(7) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策3-3 「商業の振興」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	四ツ角周辺の空地にシェアハウス型の社会福祉施設などを誘致して、賑わいを創出してほしい。	<p>施策3-3「商業の振興」では、中心市街地の活性化に取り組む中で、店舗改装支援や創業支援などを実施し、にぎわいの創出に向け、市民、商業者、行政が一体となったまちづくりを推進することとしています。</p>

(8) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策3-4 「観光の振興」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	坂の多い地域特性をいかしたイベントなどを実施してほしい。	<p>施策3-4「観光の振興」では、地域資源の活用の推進に取り組む中で、地域資源の磨き上げや掘り起こしなどを通じた誘客に取り組むこととしています。</p> <p>地域の特色をいかした取組を展開し、誰もが訪れたくなる魅力ある観光地づくりを推進します。</p>
2	渋川山車まつりを毎年開催してほしい。また、打ち上げ花火や県外のB級グルメの屋台、群馬県出身の有名人によるイベントなども併せて実施してほしい。	<p>施策3-4「観光の振興」では、地域資源の活用の推進に取り組む中で、地域資源の磨き上げや掘り起こしなどを通じた誘客に取り組むこととしています。</p> <p>渋川山車まつりの毎年開催やイベントの同時開催などについては、地域の特色をいかした取組を展開する中で、関係団体等と連携を図りながら検討します。</p>

(9) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-1 「連携を強化する道路・橋りょうの整備」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>主要地方道前橋伊香保線吉岡バイパスについて、吉岡町の都市計画事業と連携して進める旨を加筆してほしい。</p>	<p>施策4-1「連携を強化する道路・橋りょうの整備」では、広域的な道路の整備に取り組む中で、主要地方道前橋伊香保線吉岡バイパスなどの支援を県に要望し、整備を推進することとしています。</p> <p>早期の整備実現に向け、近隣市町村と連携して進める旨を加筆します。</p>
2	<p>上信自動車道関連の主要事業として、県道渋川吉岡線（川島地区）なども加筆してほしい。</p>	<p>施策4-1「連携を強化する道路・橋りょうの整備」では、広域的な道路の整備に取り組む中で、上信自動車道関連バイパス事業の円滑な進捗を図るとともに、アクセス道路の整備を推進することとしています。</p> <p>具体的な取組などについては、基本計画には加筆せず、実施計画で示すこととします。</p>
3	<p>国や県が事業主体の橋りょうについて、具体的な要望内容を記載してほしい。</p>	<p>施策4-1「連携を強化する道路・橋りょうの整備」では、橋りょうの整備に取り組む中で、国、県を事業主体としている橋りょうの整備実現に向けて国、県に対して要望することとしています。</p> <p>具体的な要望内容などについては記載せず、実施計画で示すこととします。</p>

(10) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-2 「生活に身近な道路の整備」」
について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	指標の舗装修繕延長の現状値が0mの理由を教えてください。	<p>指標の舗装修繕延長については、今年度策定する道路舗装維持修繕計画に基づき、設定することから、現状値を0mとしています。</p> <p>指標については、算出方法や設定の考え方などを示した一覧表を計画書に掲載します。</p>
2	指標の橋りょう点検数について、該当する橋りょうの全体数が分からないので、橋りょう点検済率を併せて記載してほしい。	<p>橋りょう点検は、5年周期の点検補修計画に基づき継続的に実施するもので、前期基本計画期間中に一度見直しを行い、全体数を変更する予定です。点検済率は、分母の変動により影響を受けるため、記載を見合わせます。</p> <p>現在の橋りょうの全体数については、指標の算出方法や設定の考え方などと併せて、計画書の巻末に記載します。</p>
3	橋の定期的な点検とは、何年ごとなのか教えてください。	<p>橋りょうについては、道路法施行規則により、5年に一度の点検が義務づけられています。</p> <p>点検は、平成30年度以降についても、継続的に実施する予定となっています。</p>

(1 1) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-3 「公共交通体系の充実」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	J R 八木原駅周辺整備と併せて、コミュニティバスを運行してほしい。	施策4-3 「公共交通体系の充実」では、鉄道利便性の向上に取り組む中で、駅周辺の整備や改善を推進します。また、バス路線の充実に取り組む中で、コミュニティバスを検討するなど、利用者の利便性の向上を推進します。
2	バス路線を見直すとともに、デマンドバスやデマンド型タクシーを導入してほしい。	施策4-3 「公共交通体系の充実」では、バス路線の充実に取り組む中で、利用者の利便性の向上を推進することとしています。 デマンドバス等の導入については、高齢者や子どもなどの交通弱者や利用者ニーズを考慮しながら検討します。
3	公共交通の利用は重要な項目であり、30分ごとに「渋川に電車が来る」が最優先である。	施策4-3 「公共交通体系の充実」では、交通機関などとの連携強化に取り組む中で、利用者の利便性の向上を推進することとしています。 J R 上越線及びJ R 吾妻線の増便については、駅周辺整備等により利便性の向上や利用者の増加を図りながら、東日本旅客鉄道（株）高崎支社に要望していきます。
4	電車で渋川へ来る際にアクセスがそれ程芳しくないことから、効率的なアクセス方法を記載したパンフレット等の作成を考えるべきである。	施策4-3 「公共交通体系の充実」では、鉄道利用者の利便性向上に取り組むこととしています。 電車で渋川を訪れる方への情報提供については、乗り換え案内等を記載したパンフレットなどの作成や市ホームページへの掲載等を検討していきます。

(1 2) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-4 「計画的な土地利用と良好な市街地の形成」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	電柱の地中化や移設により、良好な都市景観を創出してほしい。	施策4-4 「計画的な土地利用と良好な市街地の形成」では、質の高い魅力ある市街地整備を推進することとしています。 電柱の地中化や移設については、まちの特徴をいかした魅力的で美しい景観の形成を進める中で検討します。
2	市内の観光地につながる道路を花街道にしてほしい。	施策4-4 「計画的な土地利用と良好な市街地の形成」では、質の高い魅力ある市街地整備を推進することとしています。 道路への花の植栽については、まちの特徴をいかした魅力的で美しい景観の形成を進める中で検討します。

(13) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-5 「公園の整備」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	市民の意見を踏まえて公園の改修や更新などを行ってほしい。	<p>施策4-5「公園の整備」では、都市公園等の整備に取り組む中で、公園利用者が安全で安心して利用できるように、遊具等の施設の改修や身近な公園整備の検討を行うこととしています。</p> <p>公園整備等については、計画的に施設の長寿命化を図るとともに、市民など利用者の意見を取り入れながら検討します。</p>
2	利根川沿いの公園の効率的利用のために、運動公園と総合公園の種類を明確に分けてほしい。	<p>施策4-5「公園の整備」では、特色ある公園や緑地の保全・活用に取り組む中で、河川緑地の保全及び活用により公園を整備し、交流人口の拡大を図ることとしています。</p> <p>利根川沿いの公園については、現在、中村緑地公園の本格利活用に向けた整備計画を策定中であり、その他の公園との機能の役割分担や連携等も考慮しながら多面的な活用を検討します。</p>
3	中村緑地公園について、サイクリングロードなどとの連携や周辺の景観を活用してほしい。	<p>施策4-5「公園の整備」では、特色ある公園や緑地の保全・活用に取り組む中で、河川緑地の保全及び活用により公園を整備し、交流人口の拡大を図ることとしています。</p> <p>中村緑地公園については、本格利活用に向けた整備計画を策定中であり、景観をいかした多面的な活用を検討します。</p>
4	公園に案内板や花壇を設置してほしい。	<p>施策4-5「公園の整備」では、公園の管理に取り組む中で、公園の安全管理と併せて利用しやすい環境づくりを行うこととしています。</p> <p>誰もが利用しやすい公園とするため、案内板等の設置について検討します。</p>
5	健康増進や医療費軽減につながるように、高齢者の公園利用を促進する工夫をしてほしい。	<p>施策4-5「公園の整備」では、公園の管理に取り組む中で、公園の安全管理と併せて利用しやすい環境づくりを行うこととしています。</p> <p>公園利用については、あらゆる世代が広く健康的にスポーツ等に親しめる憩いの場を提供できるよう、整備を検討します。</p>

(14) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策5-4「地域文化の振興」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	群馬県の東国文化との連携を図ってほしい。	施策5-4「地域文化の振興」では、文化財の保護・活用と伝統文化の継承に取り組む中で、黒井峯遺跡や金井遺跡群等重要史跡と群馬県の進める東国文化事業を連携させ、計画的な保護、活用を検討することとしています。
2	市内の歴史ある宿や街道を活用してほしい。	施策5-4「地域文化の振興」では、文化財の保護・活用と伝統文化の継承に取り組む中で、市民が文化財を身近に感じられるように、歴史ある宿や街道の活用を検討することとしています。

(15) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策6-7「適正な組織体制と健全な行財政運営」」について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	ふるさと納税の返礼品であるふるさと感謝券の利用範囲を充実させて欲しい。	施策6-7「適正な組織体制と健全な行財政運営」では、財源の確保と効率的な財政運営に取り組む中で、ふるさと感謝券の利用店舗の拡充について検討を進めることとしています。

2. 提出された意見に基づき、次のとおり案の修正を行いました。

(1) 「Ⅲ 基本計画 第1章 重点プロジェクト 2 重点プロジェクトの推進に当たって」
について

修正前	修正後	修正理由
<p>2 重点プロジェクトの推進に当たって</p> <p>平成27(2015)年度に策定した渋川市人口ビジョンによると、本市の将来人口は減少することが見込まれており、人口減少対策は喫緊の課題のひとつと言えます。</p> <p>そこで、交流人口の拡大、若者・子育て世代を始めとする幅広い世代の移住・定住の促進などの人口減少対策を分野横断的に推進する渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しながら、重点プロジェクトにおいても効果的な人口減少対策を推進することとします。</p>	<p>2 重点プロジェクトの推進に当たって <u>(人口減少危機突破)</u></p> <p>平成27(2015)年度に策定した渋川市人口ビジョンによると、本市の将来人口は減少することが見込まれており、<u>地域経済の縮小や地域コミュニティの維持に深刻な影響を及ぼす人口減少問題は喫緊の課題と言えます。</u></p> <p>そこで、<u>雇用を生み出す新たな企業誘致の実施、交通利便性の向上による交流人口の拡大、若者・子育て世代を始めとする幅広い世代の移住・定住の促進などに取り組み、人口減少による危機の突破を図り、「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」</u>を推進することとします。</p>	<p>「人口減少対策を最優先として、いずれかの項目に追加する必要がある。」との意見を踏まえて、人口減少対策を本市の最重要課題と捉え、対応を明確に記述するため、「2 重点プロジェクトの推進に当たって」のタイトルに「<u>(人口減少危機突破)</u>」を加筆し、「<u>地域経済の縮小や地域コミュニティの維持に深刻な影響を及ぼす人口減少問題は喫緊の課題と言えます</u>」と修正しました。</p> <p>さらに、具体的な取組を明確に記述するため、市長公約を踏まえ、「<u>雇用を生み出す新たな企業誘致の実施、交通利便性の向上による交流人口の拡大、若者・子育て世代を始めとする幅広い世代の移住・定住の促進などに取り組み、人口減少による危機の突破を図り、「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」</u>」と修正しました。</p>

(2) 「Ⅲ 基本計画 第2章 前期基本計画 施策4-1 「連携を強化する道路・橋りょうの整備」」について

修正前	修正後	修正理由
<p>取組内容 (1) 広域的な道路の整備 主要地方道前橋伊香保線吉岡バイパス延伸道路整備などの支援を県に要望し、広域的な道路の整備を推進します。</p>	<p>取組内容 (1) 広域的な道路の整備 主要地方道前橋伊香保線吉岡バイパス延伸道路整備などの支援を近隣市町村と連携を図りながら県に要望し、広域的な道路の整備を推進します。</p>	<p>「主要地方道前橋伊香保線吉岡バイパスについて、吉岡町の都市計画事業と連携して進める旨を加筆してほしい。」との意見を踏まえて、早期の整備実現に向け、近隣市町村と連携して進めるため「近隣市町村と連携を図りながら」を加筆しました。</p>

□問い合わせ先：企画部企画課 TEL：0279-22-2401
 FAX：0279-24-6541
 E-mail：hp-kikaku@city.shibukawa.gunma.jp